

令和7年度 第1回岡崎市図書館交流プラザ運営協議会 会議録

- 1 日時
令和7年8月18日（月） 午後4時00分～5時00分
- 2 会場
図書館交流プラザ 会議室 301
- 3 出席委員（6名）

田中 人	委員（山陽学園大学教授）
山本 伸	委員（岡崎市図書館協議会委員）
長谷川伸介	委員（株式会社まちづくり岡崎取締役事業統括部長）
西野 陽子	委員（りぶらサポータークラブ会員）
諸富 智枝	委員（市民公募）
長尾 晴香	委員（市民公募）
- 4 欠席委員（1名）

野澤 琳	委員（市民公募）
------	----------
- 5 傍聴者
なし
- 6 説明等のため出席した職員の職・氏名
 - (1) 社会文化部
山田能正（部長）

ア 生涯学習課
岡田武士（課長）
羽田正輝（副課長）
尾崎孝幸（総務企画係長）
小川正紀（施設管理係長）
太田隼平
イ 多様性社会推進課
本間孝司（課長）
太田義男
ウ 中央図書館
谷端健司（館長）
丸本洋乃（副館長）
 - (2) 市民安全部
市民協働推進課
鈴木温子（副課長）
- 7 次第
 - (1) 開会あいさつ
 - (2) 議題

ア 運営状況

イ その他

8 議事（要旨）

運営状況について資料に基づき事務局による説明、その後質疑応答。

<駐車場収入>

委 員 駐車場収入が予想より少なかったが利用台数は増えている。

どのような要因が考えられるか。

事務局 大河ドラマ館の影響があると考ええる。

令和5年度は閉館日や無料時間内である2時間を超えて駐車をする利用者が多かったのではないかと推測される。

<館内イベントについて>

委 員 図書館のイベントはどのように企画されるか。

事務局 愛知学泉短期大学の学生に図書館ならではの展示を立案してもらっている。今年度は不思議の国のアリスを行う予定である。

委 員 利用者のニーズに沿ったものを実施した方が望ましいため、昨年度のアンケートをうまく反映したイベントとなると良い。

<予算>

委 員 人件費や光熱水費が高騰している中で、予算が超えてしまった場合、どうしているのか。

事務局 前年度の秋に運営に差支えないように予算の見直しを行っている。ただ、運営の中で気温等の試算しにくいものについては必要に応じて予算の補正をすることになる。

委 員 りぶら利用者のサービスの質を減らすことは望ましくないため予算策定時の事業の優先順位については改めて考慮していただきたい。

<利用者の意見>

委 員 資料4の利用者からの意見についてはどのような問い合わせがあったか。

事務局 いくつか例を挙げさせていただくと、まず「施設の利用方法」については施設の利用に関するルールについての意見である。こちらは継続して検討をしている。

「桜まつり対策」については土曜日および日曜日に特Pにて事前予約を実施していた中で、夜間など、当日予約がされていない区画について解放してほしいという意見があった。

「映画上映について」は上映して欲しい映画を挙げられることが多い。こちらは上映権の兼ね合いもあるため慎重に検討をしている。

委 員 どのように意見を徴収しているか。

事務局 総合案内に直接ご意見をいただくか、総合案内に設置している意

見箱に投函していただく方法を採用している。

委 員 個別にフィードバックしているのか。また、どれくらい内部で共有しているか。

事務局 個別でのフィードバックは行っていない。生涯学習課と中央図書館をはじめ、必要に応じて関係部署にも共有をしている。

委 員 令和6年度第2回の本会議にて、シネマドリぶらの広報の時期を早めた方が良いと提案をし、実施していただいたがその結果、利用者からは好評の声を聞いている。また、利用者からどこに問い合わせをしたらいいかわからないという声を聞くことがあるため、より、利用者から意見を吸い上げやすい仕組みがあればよいと思う。

<利用人数>

委 員 利用人数について小中学生の利用について年代別にわかるのであれば知りたい。タブレット端末等の普及により、小中学校の図書室での利用が減っている。何か図書館と小中学校とで連携した事業を行えたら良いと考える。

事務局 入館者についてはゲートにてカウントしているため属性の仕分けできない。本の貸し出しについては貸出カードに登録されている情報によると、全体の25%については14歳以下の方に貸出をしている。

また、昨年度の貸し出し143万冊のうち、56万冊が児童書である。図書館としても司書が学校に赴いて読書の楽しさを普及するような取り組みを行えたらよいと考えている。

<その他>

委 員 せっかく新たな取り組みや利用者からの意見で改善した点があるのであれば、資料として利用者に公開した方がよいと考える。利用者数等の実績だけでなくこの結果についてどう取り組んだのかを知りたい。

事務局 今回お示ししている年報等は市民に公表する一般的な資料となっているが、今後図書館交流プラザを運営するにあたり、さまざまなカテゴリーにて取り組み成果を市民に提示できる資料を次回以降はお示しできるようにする。

以 上